

# 中学生の部



「かさうた」ルールで思いをはき出したで賞

## わが家の「かさうた」

ぼくの家では、毎日夜寝る前に、「かさうた」をみんなで言います。これは、「かなしかった」「さみしかった」「うれしかった」「たのしかった」ことの略で、一日で自分が思ったり、感じたことを、家族に報告する、というものです。ぼくは、楽しかったことはもちろん、悲しかったことも、親にぐちゃたりできるので、とてもいいルールだと思っています。これからも、たくさん自分が思ったことを吐き出していききたいです。

坂井中学校 一年 永田 惟久真 さん



審査員より

なんて素敵な家族の習慣なんでしょう。「かさうた」のネーミングも素晴らしいですね。新しいコミュニケーションの仕方ですね。本音で話ができる家族は最高ですね。

お母さんのありがたさが身にしみたで賞

お母さんがいることのありがたさ

今年、お母さんが突然倒れ原因を調べるため入院となりました。ここからが大変です。ご飯づくり、洗たく、すべてをみんなで分けしてすることとなりました。お母さんがいない中大変だったけど、父と妹と僕、あれこれ言いながらみんな協力して無事一週間を乗り越えられました。普段何気ない事のありがたさが心に残った数日でした。これからは、お母さんに全てをやらせるのではなく、僕たちで進んで手伝いをしていきたいです。

坂井中学校 一年 中西 佑太 さん



毎日の生活の中で当たり前と思っていたことが急に変化が起けるとびっくりしますね。でもお互いに助け合えるご家族は素晴らしいです。これからも困ったら協力できる家族になることを願っています。



## ◆ 反抗期も本当は大好きで賞 ◆

## 本当は大好き

最近、私とママが対立することがよくあるよね。自分で決めたことを守らなかったり、にらんだり、ママのことをきずつけちゃってごめんなさい。意地をはっているけれど、本当は心の中で反省しているよ。「反抗期」というものに入っているのかもしれないけど、どれだけママにおこられたって、どれだけママに反抗したってずっと大好きだよ。こんな私だけど、これからもよろしくね。



坂井中学校 一年 小林 倖奈 さん

審査員より

自分の気持ちと行動が上手くコントロール出来なくても、実はすごく反省し、それを素直に伝えられていると思います。

母に感謝の泥だらけ選手権で賞

野球部と母

僕はこの春、中学生になって野球部に入りました。母は兄も野球部だったので、「別の部活にしたら？」と言いました。理由は毎日のユニホームの手洗いが大変だからです。それでも入部した僕を見て母は、「また泥だらけ選手権が始まった。」と苦笑い。帰宅した僕を見ては「今日も満点」と採点します。文句を言いながらも、毎日ピカピカにしてくれる母。いつか試合で活躍し、笑顔で恩返ししたいです。



坂井中学校 一年 H・S（男性）さん

審査員より

素敵な言葉をお母さんからいただき、部活にも力が入りますね。お母さんの応援に感謝しながら、活躍されることを期待しています。

柱の成長のしるしがうれしかったで賞

坂井中学校 一年 信国 華菜子さん

## 成長のしるし



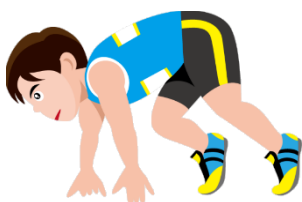
私の祖父母の家の部屋に木の柱があります。そこには、私が保育園の時から身長の線が、鉛筆でたくさん書いてあります。八月、久しぶりに柱を見ると、「かんこ9月」「3・3」「かなこ8才」など、その時の年齢や日付が書いてありました。姉の線も一緒に書いてあり、一番最近の日付は「2024・6・21」でした。約1年ぶりに測ってみると姉は変わっていませんでしたが、私は四センチほど伸びていました。来年も伸びていこうれしいです。

家族の支えを改めて感じたで賞

坂井中学校 三年 金崎 徹さん

## 家族のことば

僕は先日、三年間続けてきた陸上部を引退しました。最後の大会では、全力で走ったけど思うような結果は出ませんでした。しかし家族が応援に来てくれて「三年間よくがんばったね」と言ってくれました。僕はこの言葉で自然と笑顔になれました。練習で辛かったことも思い出し、家族の支えがあったからこそ今まで走り続けられたと改めて感じました。これからも家族と笑顔あふれ合いながら、日々の生活を過ごしていきたいです。





## 面白い妹達

ボケとツッコミのにぎやか姉妹で賞

坂井中学校 一年 M・K（女性）さん

私には二人の妹がいて、次女は自分のオリジナルのネタを作ったり、テレビのまねをして、皆を笑かしてくれるけど、三女は次女のまねをするからさらに面白くなっています。まだ三女は3才にもならないのにボケを覚えて私は二人にツッコまないといけなくて大変です。毎日奪い合いやケンカが起きて少し仲が悪い二人だけど、二人がいるおかげで毎日家の中はにぎやかです。

## 元気がでるまじない

元気がでるおまじないとわかったで賞



坂井中学校 一年 五十嵐 陽菜 さん

私の家族は、みんなが朝出発する時、「いってらっしゃい」と必ず言うようにしています。私はひねくれものなので、何で必ずいってらっしゃいを言わなきゃいけないんだろうと思っていたのですが、一時期、家族内ですれ違いがあり、ギスギスしてるとき、いってらっしゃいをだれも言わなかったことがありました。そのまま学校に行った時、何だか心寂しい感じがして、ずっとモヤモヤしました。いってらっしゃいと言うのは、元気が出るおまじないだ。

お母さんと一緒にごはん作りで賞

## お母さんと手伝い



坂井中学校 一年 長谷川 壮佑 さん

お母さんが、料理を作っていた時に、「僕もつくっていいか」と聞いたらお母さんが「いいよ」と言ってくれたので、一緒に作りました。包丁を使うことに慣れていなかったのでもより料理にかかった時間はながくなったけれど、いつもよりおいしいご飯を作れました。ご飯の後、お母さんに「ありがとう」といわれたことをきっかけに「これからも一緒に作ろう」と思えるようになりました。

お母さんの見送りパワー賞

## お母さんのお見送りパワー



坂井中学校 一年 山岸 俐里花 さん

私のお母さんは、私が出かけ時は必ず見送ってくれます。今までは見えなくなるまでずっと見ていてくれました。中学生になってからは、お姉ちゃんが高校生になりお母さんが毎朝駅まで送っていくので、忙しくて玄関先での見送りになりました。でも自転車走っているとお母さんが手を振りながら車で通過していきます。2回見送ってくれているように得した気分になります。お母さんの見送りのおかげで毎日がんばれます。



中学生のいるご家族のすてきなエピソードがたくさん寄せられました。  
思春期の子どもたちにとって、ご家族の見守りや声かけが、子どもたちの  
安定した心のともしびとなります。

見守りながらも、ご家族での話し合いを大切にされていますね。



わが家の3行詩より

大会で走る僕に、必死で拍手している母  
声を出せない応援ルール ちゃんと届いた  
がんばるよ

新潟県 中学2年 小日向 優さん